# シアトル別院時報

32巻8月号

2013年度教化標語
**真実明に帰命せよ**

## 永遠

新井俊一師

私の住まいの近くにEternity（永遠）という名前の結婚式場があります。「愛は永遠」という意味でしょうか、すばらしい名前ですね。シンデレラのようなおとぎ話はよく「そして二人はいつまでもしあわせに過ごしました」という文で終わります。しかし永遠に続くものというのはこの世にはありません。キリスト教の結婚式で、新郎新婦が「私は誰々を、健康な時も病気の時も、死が二人を分けるまで愛し続けます」という誓いの言葉を言いますが、こちらの方が現実に近いでしょう。もっとも最近では、この誓いを完遂する人は少なくなりましたが。

パーリ語の大般涅槃経で、阿難が釈尊に、もっと長く生きて衆生を救ってください、と懇願しますが、釈尊は「自分は今まで、すべての存在は一刻も休まず生滅を繰り返している、と教えてきた。私だけがその法を破ってよいと言うことはない」と言って断ります。釈尊は入滅されることによって、自分の教えの正しさを証明されました。

それでは阿弥陀仏はどうでしょうか。『大経』は阿弥陀仏の入滅について何も言っていませんが、それよりも古い『平等覚経』では阿弥陀仏の入滅に言及しています。すべての形あるものは常に変化しているのですから、阿弥陀仏にも入滅があっても不思議がないでしょう。しかし阿弥陀仏は無量寿仏とも呼ばれます。ここで考えなければならないことは、無量寿というのは「永遠に続く命」とは意味が違うということです。永遠に続く命を持った者はありません。もし阿弥陀仏がいつまでも生き続けられるのでしたら、私たちも慌てて教えを聞いたり、お念仏をしたりする必要もないでしょう。永遠の阿弥陀仏と有限の私たちの間には関わりがなくなってしまいます。

**8月の予定**

4日　10時　原爆被爆者追悼法要
　　10時45分　日本語プログラム
11日　10時　家族法要
　　10時45分　日本語プログラム
18日　10時　家族法要
　　10時45分　日本語プログラム
25日　10時　家族法要
　　10時45分　日本語法要
　　泉康雄師
　南アルバーター 仏教会　カナダ
26日（月）日本語セミナー
　　泉康雄師　10－2時

1日　1時半　日系マナー法要
15日　1時半　日系マナー法要
27日　10時半　敬老ホーム法要

阿弥陀仏の命が無量だというのは、仏の命が智慧と慈悲に満たされているからです。だからこそ、阿弥陀仏の本願に出遇うと、仏の功徳（智慧と慈悲）をそっくりいただくことになるのです。

阿弥陀仏の命が有限かどうかを考えるよりは、私たちを救うのに間に合うだけ長生きしてくださったことに感謝しなければなりません。阿弥陀仏が成仏されてから十劫になると『大経』に言われていますが、私たちも十劫以上のあいだ、迷いまよってきたのです。阿弥陀仏は長生きしてくださってやっと逃げる私たちをつかまえてくださったのです。そして世の中に一人でも本願に出遇い、念仏する衆生がいる限り、阿弥陀仏は生き続けられるでしょう。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

**日本語セミナー　8 月 25 日（月）10 時—2 時　ご講師—泉康雄師（南アルバータ仏教会、カナダ）**
シアトル別院にて、皆様のご出席をお願いします。別院事務所までご連絡ください。

**今秋の予定**
**10 月 5 日・6 日　梅津廣道総長のシアトル別院訪問**

**帰依式**—梅津総長による帰依式が 10 月 6 日 11 時半より執り行われます。申し込み用紙は英語面に、また詳細は事務所にご連絡ください。締め切りが 9 月 1 日となっていますのでご注意ください。
費用は 25 ドルです。

**10 月 19 日　第二回　別院女性のセミナー**
**テーマ「利他の心」　シアトル別院にて　９時半—３時半**

「利他の心」と題し二回目の女性セミナーがシアトル別院で開かれます。ハワイからの西山真理子先生による日本語セッションもあります。これは SBBWA の恵信尼様/覚信尼様 顕彰法要に基づいた企画です。ご家族、ご友人お誘い合わせてぜひご出席下さい。シアトル別院主催　SBBWA 後援
ゲスト・スピーカー　かすみ・なおみ准教授（シアトル大学）
パティー　ウスキ師　（サン・ファンナンド・バレー仏教会）
西山真理子師　（パール・シティー仏教会、ハワイ）

**別院スカラシップ**
今年も高校を卒業し大学へと進学する青年たちに別院よりスカラシップが贈られた。
辻原基金より：　原野ブランドン、コー・エバン、小財クリスタル、山根リンゼイ、横山カーティス、土佐谷ジュルー。
別院継続教育基金：リー・クリスタ
下紺まさる・みつま基金：キャンフィールド・ライアン
各生徒の詳細は英語面にて、またグラス・ウォークスの麻植ティシュより生徒に盾が贈られた。

**別院日本語プログラム**
松林輪番がリタイアされた 2010 年よりシアトル別院では日本語の先生がおられませんが、星野アランさんが日本語プログラムを毎週用意して下さっています。毎週いろんな先生のお説教を拝聴出来るなんてなんと贅沢なことでしょう。日本語メンバーは大変感謝しています。
先日はカリフォルニアにリタイアされた松林芳秀先生の懐かしいお姿を見せていただき、ご法話を拝聴しました。
英語法要の後 9 時 45 分くらいから始まります、みなさん是非ご参加下さい。

**会員部より**
別院維持会会員の年度会費は 70 才以上は$250（＄500 ご夫妻）、70 才以下は$300(＄600 ご夫妻)です。これは別院の維持に対しての最低額になります。分割でも払えます、事務所までお申し出下さい。今年分の会費をお支払いになった方のお名前が英語文にあります。
**シアトル別院会費について**
2013 年度も終わりに近づきました。会費を納められた方々には感謝します。
税金免除になる年会費は別院にとって諸経費を賄い、仏教教育をよりよくしていく為にも必要です。ですが、会費とファンド・レイズのお手伝いだけではその諸経費をもカバーしきれません。別院会費はほかの 2 団体の会費も含まれます、ＢＣＡ，北米地区です。300 ドルのうち 200 ドル以下が（70 歳以上の方は 150 ドル以下）が別院に残された額です。分割で払われても結構ですが 9 月 30 日までに最後の払い込みをして下さい。皆様のご理解とご支援のもとに別院が活動でき、将来があるのです。

# 婦人会便り

**会長のメッセージ　　馬場ジャネット**

**お盆踊り**：今年のお盆踊りの際には沢山の会員がバラ寿司と焼きそばの準備と販売、他の沢山のブースでの販売、会館の展示物の役目、そして踊りの指導。。。と、種々のお手伝いに参加され、有り難く深く感謝申し上げます。この二日間の行事は、シアトル恒例のシーフエアーの一端をなし、別院総出の大企画です。私達の会員、又踊りの指導者フローレンス・グエンが、他の会員方須坂ゲールと梅田スザンと共に、白河仏教会とタコマ仏教会の踊りの先生方に教え、シアトル別院のお盆前の練習時に踊りを数日間指導され、お盆当日も指導されました。

**夏季日帰り旅行**：活動部に依る今年の日帰り旅行は８月１４日にフェリーとコーチバスにて、ベーンブリッジ島博物館と日系記念壁を訪れ、クリアワター・カシノにて昼食となります。会員の費用負担は５０ドルです。この費用にはコーチ、フェリー、そして昼食が含まれます。署名用紙は事務所の向かいに有ります。もっと情報の必要な方は事務所の中野ジョーンに連絡をして下さい。

**子供の夏季プログラム**：今年の子供の夏季プログラムは「日本への旅」と題して６月２４日から２８日迄持たれ、婦人会会員は大きな役割を果たしました。

今年の共同指導者の中の二人は、婦人会新会員の西—ワング・リーアンと寺本ゲールで、プログラムのクラスの先生方は中村ジューデス、富田—加藤ナイナ、馬場ジャネット、八幡静江と大川ジェニーでした。祭り演奏の為に頭本ダーナが太鼓を各クラスの生徒達に教え、加えて、日本文化方面では、料理は川原律子、お饅頭作りは桑原絹枝、書道は藤井あい子、踊りは加藤ジョイスの方々に依って夫々指導され、オフィスの方のお仕事は中野ジョーンにお手伝い頂き、そして数多くの会員の援助も得て、このプログラムは大成功の内に終わりました。来年の予定は６月２３日－２７日です。

**Walk for Rice**：好天候に恵まれた、去る６月２９日（土）に八幡静江の引率に依って婦人会会員（大川ジェニー、鹿島加奈子、寺田鈴子、加藤ジョイス）が ACRS 恒例の Fund Raiser, “Walk for Rice”に ACRS Food Bank に寄附される為に参加され、Seward Park を一周しました。この Food Bank は援助を必要とする約５千人のアジア人とパシフィック島の人達を援助する唯一の Food Bank で、１２万６千ポンド余りのフードを毎月定期的に配布します。この行事に他の別院会員、柴田デニス、加藤エド、アリッ

サ、ラッセルも加わり、この婦人会グループはお蔭様で約１０００ドルの寄附をする事が出来ました。寄附をされた皆様、そして別院、サンガ、そして社会に継続的に貢献される会員の皆様に深く感謝致します。

合掌

**８月行事予定**

４（日）　　婦人会理事会／原爆法要

通信書記（日）新保エツ提出

Kinue Kuwahara helping KSP student with Calligraphy

Masako Kawamoto, Kiyoko Nakanishi, Michi Vaart, Florence Sumida, Ritsuko Kawahara andMiyoko Tazuma preparing for Cooking Class during KSP

July 7 Music Service, Ukulele band playing *Oh What a Beautiful Mornin'* and *Imagine* by John Lennon.